

報告書 パークレンジャーと行く！ 夏（夜）のこだいら生きもの調査隊！

作成者：レンジャー・環境教育部 杉山俊也

日時	令和5年7月22日（土） 18時10分～20時
場所	野火止用水歴史環境保全地域 小平市栄町2丁目地区（集合：小川西町地域センター）
開催形態	主催：小平市 環境政策課 企画運営：特定非営利活動法人 NPO birth
担当	NPO birth レンジャー・環境教育部2名（主担当：杉山 サポート：堀内）
目的	市民の生物多様性についての理解を深め、生物多様性に配慮した行動に繋げ、市内の生物多様性の保全に寄与することを目的とする。
対象/参加	市内在住・在勤・在学の親子15組（30名を想定） 募集結果：14組37名（子ども18名、大人18、未就学1名） 当日参加：12組34名（子ども17名、大人17名）+大学生1名 内訳：2歳/1名、5歳/1名、小1/4名、小2/3名、小3/3名、小4/3名、小5/1名、小6/1名
概要	<p>①夜の生きものについて解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜の生きものについて事前解説（樹液に集まる昆虫、セミの羽化、注意事項など） ・セミの幼虫の見分け方説明 <p>②夜の雑木林で生きもの探し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹液に集まる昆虫観察 ・セミの羽化観察 →適宜、夜の生きもの調査シートに記録してもらった
スケジュール	<p>【準備】</p> <p>16:00：当日事前下見/備品確認・準備 地域センター：会場セッティング（プロジェクター機材など）</p> <p>【開始】</p> <p>18:10：開会（進行 小平市） ・レンジャー挨拶/スケジュール説明（杉山）</p> <p>18:15：夜の生きものについて解説 ・調査シート配布（お子様1人につき1枚） ・プレゼンを用いた解説（樹液に集まる虫、セミの羽化、注意事項など） ・セミの幼虫の見分け方説明（抜殻の実物を用いて見分ける練習）</p> <p>18:45：トイレを済ませ、小平市栄町2丁目地区へ移動</p> <p>19:10：小平市栄町2丁目区到着、生きものを探しながら林内を散策（適宜解説） ・適宜記録シートに記入</p> <p>20:15：ふりかえり（数名に何が何匹見られたかを発表してもらう）</p> <p>20:20：終了</p> <p>※スマホで撮影した写真を提供いただける参加者は、SNSに『#こだいら生きもの調査隊』でアップいただくか Google フォームの専用ページにアップしてもらうようアナウンス。</p>

備 品	birth : ・救急セット×1 ・虫かご、補注網×1（スタッフ用） ・生きものラミネ ・バインダー&ボールペン、昆虫調査セット×子ども人数分 ・アンケートセット 小平市： ・受付備品（消毒関係込み） ・救急セット など
成 果	・前半に今回探検するフィールドの歴史や文化的背景を紹介し、その後実際に散策することで、小平市に残る貴重な自然環境について親子共に理解を深めてもらうことができた。 ・「家族で夜間の雑木林散策をしたいと思っていても、今まで実行することができなかった。今回、レンジャーから野外で注意することや生きものの知識などを聞きながら夜の生きもの探しが体験でき、とてもよかった」との声があった。夜間の自然観察に興味があっても実行に移すことができないでいた家族も多く、そのような方々に向けより自然と親しむ機会を提供することができた。 ・猛暑の影響か下見の段階から出現種数は少なかったが、子どもたちがたくさんの生きものを見つけてくれたため充実した観察イベントとなった。 ・Google フォームでの写真提供は1組（10枚）のアップがあった。Instagramからの共有は無かった。

写真報告



【室内で開始：夜の生きものや注意事項、セミの抜殻の見分け方を解説】



【雑木林に移動：レンジャーと散策した後、家族ごとに自由に生きもの探し】



【確認種：オオカマキリ、アブラゼミ、ニイニイゼミ、ノコギリクワガタ、アカアシオオアオカミキリ】



【夜の生きものとふれあう子ども達】



【見つけた生きものを4名に発表してもらった】



【生きもの調査表】

【参加者の感想】

- ・家族で夜間の雑木林散策をしたいと思っけていても、今まで実行することができなかつたが、今回レンジャーから野外で注意することや生きものの知識などを聞きながら夜の生きもの探しが体験できてとてもよかつたです。
- ・カブトムシはいなかつたけど、たくさんクワガタが見つかつて良かつた。
- ・夜の探検、とても楽しかつた。
- ・春のイベントにも参加しました。ぜひまた参加したい。
- ・セミの羽化、とても感動しました。
- ・(保護者の方が)セミの幼虫を初めて見ることもできた。